

(様式3)

## 目標達成計画

事業所名 グループホームあらかわ

作成日: 平成 29年 7月 25日

| 【目標達成計画】 |      |   |  |   |            |
|----------|------|---|--|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 36   | 利用者の人権尊重の面からも全職員が共有する必要がある。今後はマニュアルの整備と研修によるプライバシー確保のケアの共有が実施されること。   | プライバシーを配慮した介助マニュアルの見直し。                    | 加治川の里のハウスルールに基づいた全員研修に参加する。日々のケアでも職員間で注意し合う。<br>介助のマニュアルを見直しする。     | 12ヶ月       |
| 2        | 7    | 身体拘束・虐待防止の研修に参加しているが、伝えるだけでなく、日々の具体的なケアの様子から職員が考える機会を持つことが必要。   | 身体拘束・虐待防止のないケアに取り組む。<br>マニュアルの見直し          | 委員会に所属している職員が研修に参加し、伝達研修を行い、職員会議や日々の申し送りで考える場を持つ。<br>マニュアルの見直し      | 12ヶ月       |
| 3        | 4    | 運営推進会議が事業所からの報告の場だけでなく、提案され退勤の取り組み状況や実践状況を見てもらい意見交換や2ユニット利用者、家族にも参加したいいただき、委員会の方と意見を交流できるような関係を構築することで、住みやすい地域の居場所・拠点となれるとよい。 | 来年度の運営推進員に各ユニットの家族の代表の方になっていただけるようにする。     | 2ユニット利用者、家族にも参加したいいただき、委員会の方と意見を交流できるような関係を構築すること                   | 12ヶ月       |
| 4        | 26   | モニタリングは行われているが、介護の視点だけでなく、医療の視点も含め、利用者・家族も参加した中で、実施されることが望ましい。全員参加は困難でもそれぞれの評価や意向を重視した実施方法の工夫が望ましい。                           | 利用者、家族、職員のモニタリングを記入する専用用紙を作成し、評価や意向に反映させる。 | 担当職員がモニタリングを行い、利用者や家族の意向を確認しながら計画作成者、職員間でもカンファレンスを行う。<br>専用用紙を作成する。 | 12ヶ月       |
| 5        |      |   |  |   | ヶ月         |